

怨霊・怪異・伊勢神宮

山田雄司著

2014年5月刊行予定

▶ A5判・420頁／定価：本体7,000円（税別） ISBN978-4-7842-1747-2

古代・中世社会に大きな意味を持ち、社会の底流で歴史を動かしてきた怨霊・怪異。早良親王・天神・崇徳院などの怨霊や、様々に記録・伝承される怪異など、その諸相を歴史的に跡付ける。さらには親鸞や伊勢神宮といった、神と仏をめぐる領域をも射程に入れて集大成する。

● 内容目次 ●

第1部 怨霊

第1章 怨霊の思想

早良親王の怨霊への対応／仏教からの怨霊への理解／怨霊思想と死刑停止

第2章 怨霊への対処—早良親王の場合を中心として—

儒教的対応／神社での祈禱／名誉回復と墓の整備／仏教的対応／陵寺の建立

第3章 怨霊から神へ—菅原道真の神格化—

藤原広嗣と松浦廟／御霊神社と御霊会／道真怨霊の誕生／二つの託宣と北野宮の創建／承平・天慶の乱後の神祇

第4章 怨霊—『今昔物語集』の事例を中心に—

『今昔物語集』巻二十七の構想／「公」と霊／「武」と霊／生霊のあり方／国家的「怨霊」への対応／民衆レベルでの怨霊への対応

第5章 源頼朝の怨霊観

頼朝の死／崇徳院の鎮魂／源義朝・平氏の鎮魂／奥州藤原氏の鎮魂

第6章 讃岐国における崇徳院伝説の展開

半井本『保元物語』にみる崇徳院の配流先／崇徳院配流先の諸本による異動／直島に残る崇徳院伝説／崇徳院と三宅氏／板出周辺の崇徳院伝説

第7章 怨霊と怨親平等との間

怨霊思想の変遷／靈魂の顕彰／慰霊の系譜

第2部 怪異

第8章 鎌倉時代の怪異

朝廷周辺の怪異／幕府周辺の怪異／戦乱と怪異／怪異の否定

第9章 平家物語・保元物語・平治物語の「怪異」

将軍塚鳴動／鳩の怪異／自然災害

第10章 怪異と穢との間

—寛喜二年石清水八幡宮落骨事件—

事件の発生／仗議／軒廊御卜／五体不具の穢／むすびにかえて—事件のその後—

第11章 親鸞における神と鬼神

神祇不拝と諸神護念／親鸞の鬼神認識

第12章 穢と不浄をめぐる神と仏

清浄を尊ぶ神と仏／『今昔物語集』に見る「穢」／慈悲行を優先する神／浄土教における不浄認識

第3部 伊勢神宮

第13章 伊勢神宮の中世的意義

古代伊勢神宮における仏教の影響／伊勢神道における仏教理解／僧尼の伊勢参宮

第14章 中世伊勢国における仏教の展開と都市

『時宗過去帳』の分析／遊行上人廻国記事からの分析／律衆の展開

第15章 院政期の伊勢神宮と齋宮

—怪異をめぐる比較—

建久九年の仮殿遷宮と怪異／齋宮をめぐる事件

第16章 室町時代伊勢神宮の怪異

心御柱の違例／怪異の連鎖／怪異とその対処

第17章 足利義持の伊勢参宮

足利将軍の参宮／義持参宮の特徴／参宮の実際—京から伊勢国へ—／伊勢参宮—宮川を越えて—

第18章 国阿上人の見た伊勢

熊野／伊勢神宮／山田

第19章 室町時代の災害と伊勢神宮

怪異・災害と遷宮／十五世紀中葉の神宮と災害／明応地震における伊勢国の被害状況／明応地震の際の伊勢神宮の対応

やまだ ゆうじ…1967年静岡県生。筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科修了。三重大学人文学部教授。主な著書に『崇徳院怨霊の研究』（思文閣出版，2001年）『跋扈する怨霊』（吉川弘文館，2007年）。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		（京都 取引コード 3402）	
冊数	冊	怨霊・怪異・伊勢神宮		本体7,000円（税別）	ISBN978-4-7842-1747-2
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代引（書籍代+送料400円を現品と引き替えにお支払い）				
				本書HPのQRコード	書店番線印

増補 陰陽道の神々

斎藤英喜著

佛教大学鷹陵文化叢書17

疫神や式神、泰山府君、牛頭天王、八王子、金神、盤牛王、そして式王子、呪詛神たち……。彼らは近代社会が封印し、消去した「陰陽道」の神々である。本書は、知られざる陰陽道の神々の来歴と素顔を平易に説く。

コロンビア大学での発表をもとにした論考“牛頭天王の変貌と「いざなぎ流」”を収録して増補再版。



【内容】

陰陽道と安倍晴明の基礎知識／追われる鬼、使役される神—疫鬼と式神—冥府と現世を支配する神／牛頭天王、来臨す／暦と方位の神話世界／いざなぎ流の神々／「陰陽道の神々」のその後／いざなぎ流への〈旅〉／安倍晴明ブームの深層へ

▶46判・356頁／本体2,300円(税別)

ISBN978-4-7842-1644-4

※王権と神祇

今谷明編

実証的研究の蓄積が少ない天皇制や大嘗祭、また権門体制論・顕密体制論によって規制されがちな中世神祇史について、実態面の研究を積み重ね、さらに中世日本紀や神道書の考証も重ね合わせることで、王権と宗教に関する新たな見取り図を描き出すことを目指した意欲的な論集。

▶A5判・348頁／本体6,500円(税別)

ISBN4-7842-1110-1

訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀

皇學館大学神道研究所編

三大儀式の一つとして貞観期に作られたとされる朝廷儀式の次第書『儀式』(十巻)の前半部に含まれ、祭祀に関わる儀式を今に伝える貴重な史料「踐祚大嘗祭儀」の原文翻刻に訓読および各事項についての詳細な注釈・校異、ならびに解題・平面図等を付す。

▶B5判・890頁／本体15,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1619-2

祇園祭の中世 室町・戦国期を中心に

河内将芳著

室町期の都市京都を文字どおり代表する祭礼であった祇園祭(祇園会)を通して、中世京都を考える。祇園会の見物という行為の検討により、その特質をうきぼりにし、さらに神輿渡御の神幸路・御旅所と都市空間との関係、戦国期の祇園祭の再興の意味や、「鬮取」の実態についても解き明かす。

▶A5判・360頁／本体4,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1631-4

中世日本の政治と文化

森茂暁著

思文閣史学叢書

鎌倉時代から室町時代にかけて、現存している古文書や、政治と深く関わった宗教者から、「中世日本」とはどのような時代だったのかをひもとく、さらに『増鏡』や『太平記』、『博多日記』という記録史料など、文芸作品からのアプローチをも試みる。中世の政治と文化を総合的に明らかにした論考15篇。

▶A5判・480頁／本体9,000円(税別)

ISBN4-7842-1324-4

続日本仏教美術史研究

中野玄三著

前著『日本仏教美術史研究』から約20年。現役引退後も京都府下の8市町村の編纂や奈良国立博物館の調査に携わり、美術作品の調査研究を続ける中から生まれた知恩寺本十体阿彌陀像、東寺本仁王経五方諸尊像、西大寺本馬頭観音像、神護寺薬師如来立像ほかについての研究成果15篇を収録。

▶A5判・540頁／本体11,000円(税別)

ISBN4-7842-1269-8

散所・声聞師・舞々の研究

世界人権問題研究センター編

散所の人々が携わった芸能あるいは陰陽道などのかかわりを含めて、文献・絵画・地図の綿密な分析をこころみ、洛中・山城国・近江国における実態を浮きぼりにする。共同研究のまとめとしての座談会のほか、研究ツールとしての年表・文献目録・基本史料を収録、古代・中世社会の研究にとって欠くことのできない基本文献。

▶A5判・590頁／本体8,200円(税別)

ISBN4-7842-1219-1

祭礼と芸能の文化史

園田稔・福原敏男編

神社史料研究会叢書Ⅲ

神社・神道研究のみならず、地域史・政治史・社会経済史・文化史、さらに文学・芸能・音楽・民俗ほか幅広い分野の研究に資するという視点で神社史料の有効活用・研究の深化普及を目的として結成された神社史料研究会の研究成果から、神社を祭場・舞台として繰り広げられる祭礼と芸能を特集する。

▶A5判・300頁／本体6,500円(税別)

ISBN4-7842-1159-4

※上賀茂のもり・やしろ・まつり

大山喬平監修／石川登志雄・宇野日出生・地主智彦編

古文書・古記録をはじめ建築や神饌などの姿・形のなかに古い神社と失われた日本文化が受けつがれている上賀茂神社。平成18年3月に神社所蔵の約14000点の文書が重要文化財に指定されたことを記念して、同社主催の歴史文化講座の成果をまとめ、上賀茂神社をめぐる神事・歴史・文化をわかりやすく紹介。

▶A5判・412頁／本体2,800円(税別)

ISBN4-7842-1300-7

『親信卿記』の研究

佐藤宗諄先生退官記念論文集刊行会編

蔵人の年中行事に関わる一般史料『親信卿記』から四方栞・供立春水など80項目余の記事を抽出・分離し、他本との校訂や内容の研究にとりくんだ一書。関係補論6篇のほか古代史の個別論考4篇も収録。

▶A5判・598頁／本体9,800円(税別)

ISBN4-7842-1252-3

後鳥羽院政の展開と儀礼

谷昇著

後鳥羽天皇(上皇)が課せられた政治課題とそれに対する対応=政策理念が、宮中の儀式・行事である公事と修法・寺社参詣参籠等宗教儀礼の中に具現しているとする視点から、それらが果たした政治的役割を個別具体的に検証することにより、多面的な視点に立った後鳥羽理解、政治史叙述を企図する。

▶A5判・328頁／本体6,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1536-2

日本中世の社会と寺社

細川涼一著

律宗・律僧が中世社会で果たした役割を中心に、女性や被差別民など、歴史の主流からこぼれ落ちがちなものたちへ常にまなごしを注ぎ、境界領域から歴史を問い続けてきた著者の主要な研究成果を一書にまとめる。

▶A5判・452頁／本体7,700円(税別)

ISBN978-4-7842-1670-3

仏教美術を学ぶ

中野玄三・加須屋誠著

50年以上の長きにわたる中野美術史学の軌跡を、加須屋誠との対談をとおして振り返り、仏教美術を学ぶことの課題・方法・魅力を余すところなく収録。ソフトな文体で読みやすく、仏教美術の入門書としても最適な一書。

▶A5判・348頁／本体3,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1720-5

続々日本仏教美術史研究

中野玄三著

仏教美術史研究三部作の最終刊。50年に及ぶ中野美術史学の集大成。【内容】縁起絵序説／『八幡縁起』の展開／宇良神社本『浦嶋明神縁起』について／談山神社本『多武峯縁起』について／北野天満宮本『聖廟縁起』について／平等寺本『因幡堂縁起』について／木津川流域の薬師梅過とその仏像／「密教図像と鳥獸戯画」再論 他

▶A5判・820頁／本体17,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1415-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。